

# 加古川市立公民館の実習負担金徴収要綱

令和 7 年 4 月 1 日

教育指導部長決定

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、加古川市立公民館における実習生の実習負担金の徴収に関し、必要な事項を定めるものとする。

(納入義務者)

第 2 条 実習負担金の納入義務者は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第 1 条に規定する大学の長とする。

(実習負担金)

第 3 条 実習負担金の額は、実習生 1 人につき 1 日1,000円（消費税及び地方消費税を含む。）を最低金額とする。ただし、特別の事情によりこの額により難しいときは、市長と大学の長が協議のうえ、これを定めることができる。

(実習負担金の徴収)

第 4 条 実習負担金は、実習期間終了後又は実習の取り消しがあった場合は取り消し後の 1 ヶ月以内に、市長が大学の長に対し様式第 1 号により請求する。

2 前項の請求を受けた大学の長は、市長が指定する期日までに実習負担金を納付しなければならない。

(指定管理者による管理等)

第 5 条 市長は、公民館の管理運営上必要と認める場合において、実習の受入れを地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の 2 第 3 項の規定による教育委員会の指定を受けた者（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 指定管理者に前項の業務を行わせている場合における第 3 条、第 4 条の規定の適用については、同条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(補則)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

年 月 日

様

(請求者)

実習負担金請求書

加古川市立公民館の実習負担金徴収要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記実習負担金を  
請求いたします。

記

1 請求額 金 \_\_\_\_\_ 円

2 請求額の内訳

実習期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 月 日までの 日間  
にかかる実習負担額

日額 \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ 人 × \_\_\_\_\_ 日間 = \_\_\_\_\_ 円

3 納付期限 \_\_\_\_\_ 年 月 日

以 上